

ニンニクに寄生するケナガコナダニ *Tyrophagus dimidiatus*

(HERMANN) について

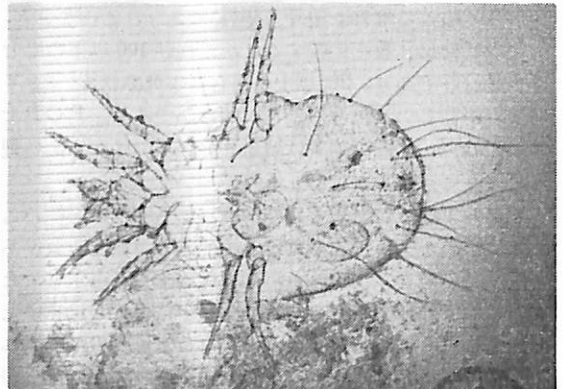
望月正巳*・守田美典**

(*富山県農業試験場 **同県射水病虫害防除所)

ニンニクの貯蔵中には、おそらくベニシリウムによるものと細菌性のものであろうと思われる腐敗が起り、その被害も放置できない状態である。そこで、これらの腐敗球について、さらに詳細な調査を行なつたところ、従来知られているネダニとは形態の異なるダニが多数に寄生していることを認めた。調査結果の例をあげると第1表の通りである。

このダニについて北海道大学理学部動物学教室の江原昭三氏に同定を依頼したところ、ケナガコナダニ *Tyrophagus dimidiatus* (HERMANN) であるとの回答を得た。ケナガコナダニはネダニに比べ歩速が早く、尾毛の長いことで肉眼的にも識別することができる。

ニンニクの被害としては腐敗と併発関係にあるようで、チューリップの腐敗とネダニの間に認められる関係とほぼ同様に考えられる。なお、立毛中の被害については今後の調査で明らかにしたい。



ケナガコナダニ *Tyrophagus dimidiatus* (HERMANN)
(顕微鏡下で600×にしたものを引伸したもの)

第1表 腐敗球50球についての寄生程度

調査球	徴寄生 (ベニシリウムと思われる)	成ダニ					幼若ダニ					卵					
		冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊		
50	球数	40	3	6	10	18	13	3	6	9	16	16	3	4	8	13	22
	%	80.0	6.0	12.0	20.0	36.0	26.0	6.0	12.0	18.0	32.0	32.0	6.0	8.0	16.0	26.0	44.0

備考 調査球は上市産 (1961年産) のもので調査は3月28日 (1962)。

ブラックライトに集まる果樹害虫

I 種類と飛来程度

常楽武男・望月正巳

(富山県農業試験場)

ブラックライトはケミカルランプの1種で、波長3,000~4,000Åの紫外線を出す特殊な蛍光灯である。遠藤(1960)はこれによる果樹害虫、特にナシノヒメシクイの誘殺防除試験を行ない、かなりの成績があつたと報じている。

従来、北陸地方の果樹害虫については不明の点が多かつたが、筆者らはブラックライトをこれの予察灯として使用することを考え、あわせてこれによつて果樹害虫相を明らかにしようとした。ブラックライトによる発生消

長については、農試砺波園芸分場が主体となつて調査が継続されているが、本報ではその種類と飛来状況について基礎的に調査した結果を報告し、ブラックライトの予察面への利用性について考察する。

本文に先だち、ハマキガ類同定にあつて種々高配をたまわり、貴重な参考標本をもいただいた大阪府立大学の一色周知博士と同教室の方々、ハマキガ類の同定をお願いし、また参考標本をもいただいた東京農業大学の川辺満氏、同定・文献などについてご援助願つた富山通